いしかわ労福協

第 595 号 2017年8月25日
発 行 所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 西田 満明
編 集 人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話（076）231-1737
FAX（076）231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

― 第4回理事会 ―

自治体への要請事項の審議

労福協は、8月18日(金)にフレンドパーク石川において、第4回理事会を役員15名の出席で開催した。

西田満明理事長が「全労済石川県本部代表者会議を最後に事業団体と地域ライフ・サポートセンターの総会を終えた。また、労働者自主福祉運動の学習会や産別組織への要請を経てアンケートに取り組んでおり、これからは取り組みの成果を見出していくことが大きな課題である。さらに、次年度に向けた自治体への政策制度要請に向けて取り組みを進めることとなり、全体の協力を願う。」との開会挨拶に続き、中川博専務理事より、報告案件に先立ち、理事選出団体の組織事情による2名の理事の辞任と合わせ2名の理事代理の選任が提案され満場一致で承認された。なお、次期総会までは2名の方は理事代理として任務にあたることとなる。

中川専務は、子育て支援・福祉なんでも相談窓口などの事業経過について報告し、各団体からもそれぞれ業況報告がされ了承された。

協議事項では、労働者をはじめとする生活者全般の福祉・安全安心な生活環境の整備などにかかる政策・制度に対する自治体への要請について審議され、提案どおり承認した。

また、本年度も引き続き、10月～11月をコア期間とする「生活底上げ、福祉強化キャンペーン」に全国の労福協とともに取り組むことなどの協議案件を全て承認し、福祉向上への運動を進めた。

辞任された理事：福田佳央氏、中西伊知郎氏
就任した理事代理：加藤卓治氏、川中淳也氏

自治体への主な要請事項

①国の奨学金制度の改善・充実と側面支援
②生活困窮者自立支援制度によるサポートの強化
③子育て世帯の実態・ニーズの把握と支援策の拡充
④超高齢社会に向けた社会保障制度など支援体制の強化
⑤育児・介護による離職防止と介護施設職員の処遇改善
⑥障がい者の社会参画と環境整備、インクルーシブ社会の実現
⑦消費者が特殊詐欺などの被害に遭わないための取り組みと消費者支援体制の強化。
⑧カードローンなどによる多重債務の防止など

福祉グラウンド・ゴルフ中央大会実行委員会開催

石川労福協とライフ・サポートセンターは、7月27日(木)フレンドパーク石川において「第15回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会実行委員会」を開催した。

金沢市グラウンド・ゴルフ協会、県障害者スポーツ協会、北陸労働金庫石川県本部と労福協・LSCから8名が出席し、大会の開催日程や開催要項を前年の大会運営状況を踏まえ、金沢市大和町の「金沢市民芸術村　大和町広場」で、10月5日(木)午前9時に、地域LSCと県障害者スポーツ協会からそれぞれ選抜された計270名の選手の参加で開催することを基本とし、今大会の開催実施に向けた具体的な取り組みを協議決定した。

委員からは、「日本グラウンド・ゴルフ協会のルールが毎年変更となっており、大会の特別ルールを明確にする。」ことや「昨年の大会と同様にスムーズな進行に向けて準備を進め、後は当日の天候次第である。また、今年も施錠した車上狙いの横行やカラスによる被害が出ている。」と発言があり、参加者には特に貴重品管理を厳重にお願いすることを確認した。

労福協・LSC　事務局次長　山上　末廣

第15回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会

主　　催：石川労福協、ライフ・サポートセンター
共　　催：北陸労働金庫石川県本部、全労済石川県本部、石川県障害者スポーツ協会
後　　援：金沢市グラウンド・ゴルフ協会、北國新聞社
日　　時：2017年10月5日(木)
午前8時30分受付開始(小雨決行)
会　　場：金沢市大和町「金沢市民芸術村　『大和町広場』」
参加エントリー：2017年9月26日(火)午後5時　締切
エントリー対象者：地域ライフ・サポートセンターが主催する地域予選会等により地域毎に選抜された方(県内全地域で計240名、地域単位でのエントリーとなります)及び石川県障害者スポーツ協会の選抜選手(30名、協会からのエントリーとなります)
参　加　費：500円/人
当日の予定：受　　付 午前8時30分から
開 会 式 午前9時00分
競技開始 午前9時20分頃
閉 会 式 午後1時頃
連　絡　先：労福協ライフ・サポートセンター
電話(076)234−0010

フレンドパーク石川運営委員会

フレンドパーク石川は、7月28日(金)会館内会議室において第22回フレンドパーク石川運営委員会を委員6名の参加で開催した。

初めに委員である中川博労福協専務理事が、日頃の会館利用と昨年の修繕工事に対する謝意を述べて議事が進められた。

事務局より、昨年度の収支状況報告、空調・照明機器の更新工事及び防水工事に対する実施報告と空調・照明工事にかかる国の補助金受領について報告した。この中で、省エネタイプの機器への入替えにより、電気使用量が軽減されており、近いうちには契約電力も低減し、各テナントの電気料金軽減に反映されるであろうと補足した。

また、空きテナント対策と低調気味の会議室利用の促進に向けた取り組みや飲料自販機の価格引き下げ等の提案が確認されたのち、今後も引き続きの利用を申し出て委員会を終えた。

これからの行事予定

(8月25日現在)

開催日	曜日	行　事	会　場
8月30日	水	中部労福協 第2回幹事会(～31日)	京都市
〃	〃	中央労福協 新公益法人制度に関する研修・情報交換会	東京都
9月7日	木	中部会館協議会 第1回幹事会	仙台市
〃	〃	全国会館協議会 第47回定期総会(～8日)	〃
11日	月	石川県退職者連合 第23回定期総会	労済会館
13日	水	消費者支援NW 消費者部会会議	香林坊ラモーダ
15日	金	勤文協 第46回絵画・陶芸展(～18日)	しいのき迎賓館
21日	木	中央労福協 第4回地方労福協会議(～22日)	大阪市
23日	土	食とみどり、水NW 海外飢餓支援米稲刈り	金沢市牧山町
30日	土	金沢LSC・労金・かなざわ地協 ろうきんフェスタ2017	産業展示館2号館
10月2日	月	労福協 自治体要請 自治体担当者会議	ANAホリディイン金沢スカイ
〃	〃	〃　〃　連合石川地方議員団懇談会	〃

第２回事業団体連絡会議

労福協は、８月22日(火)フレンドパーク石川において、委員等７名の参加で第２回事業団体連絡会議を開催した。

前回、各団体より提示された要請案に労福協理事会を経た政策制度要求(第４回理事会記事参照)を加え、全ての団体の要請内容を記載した要請書(案)について、更に内容を詰めた協議を行った。

中川博専務理事が、労福協の要請内容を説明した後、委員からの意見を聴取し、更なる吟味を加えた後、各団体の要請内容に重複のないよう調整を行うとともに、提出済みの各団体における要請内容の変更の有無を確認した。また、要請行動の実践となる取り組み日程を確認し、要請への意気込みを合わせた。

中部労福協

第５回理念・歴史・リーダー養成講座

中部労福協は、８月７日(月)～８日(火)の両日、三重県四日市市「四日市都ホテル」において、「理念・歴史・リーダー養成講座」を65名の参加で開催した。石川県からは、東晃栄(北陸労金)、川瀧英樹(全労済)、荒木田政志(労信協)、村上睦(連合石川)、中川博(労福協)の５名が参加した。

主催者を代表し中部労福協小林茂会長が、「近年、自然災害による被害が非常に多くなっている。現在、接近中の台風５号は、奄美地方に50年に一度の大雨を降らせる等、各地に大きな被害をもたらしつつ、今後の被害も心配される。被災者には、心よりお見舞い申し上げる。今や奨学金制度を２人に一人が利用している中、返済が滞れば様々なペナルティーが科されるなど、若者を苦しめる一方で貧困の要因とも言われている。本年、給付型奨学金制度が創設されたが、支給額や対象規模などに課題も多いことから、引き続き奨学金制度の拡充と改善に向け、取り組みを願いたい。」と挨拶した。また、開催地を代表して三重県労福協の吉川秀治理事長が「四日市市は、市制120周年を迎えた。工業地帯として公害問題に直面したが、迅速な対応で改善をはかり、環境問題に大きな影響を与えた。今、若者の４人に一人は収入が安定せず結婚しないと言われているなど、労福協の取り組みは非常に重要である。」と歓迎の挨拶をした。

講座第１日目は、中央労福協の渡邊和夫アドバイザーが「労働者自主福祉運動の前進に向けて」と題し、自らの労働運動経験を交え福祉運動の原点である「支え合い・助け合い」の重要性や労福協の役割について講演した。また、静岡県労福協の大滝正専務理事から「連帯・共同で作り安心・共生の福祉社会」と題し、戦後から現在までの福祉運動の流れの中で、「福祉はひとつ」の理念で連帯し結成した労福協の歴史を静岡労福協が作成したDVDを利用しながら分かり易く解説した。

２日目は、生活協同組合コープみえ西川幸城理事長から「三重県における協同組合の現状と課題」と題し、コープみえが取り組む共同購入事業では、商品の受取ニーズに応えることで毎週75,000世帯を超える組合員に商品を届けていることや、組合員や地域で展開する貢献度の高い社会活動など様々な取り組みの紹介があった。最後に、三重県労福協松林弘専務理事をコーディネーターに「福祉事業団体の現状と課題」と題し、事業団体の東海労働金庫、全労済三重県本部、三重県住宅生活協同組合の三者をパネラーにパネルディスカッションが行われ、各事業団体が抱える課題とともに、会員組合員との関係について現場でのエピソードを交え課題の改善や解決の経験談が披露され、２日間の養成講座を終了した。

石川県勤労者共済生協第62回通常総代会・全労済石川県本部第8回代表者会議

石川県勤労者共済生活協同組合第62回通常総代会・全労済石川県本部第8回代表者会議が7月31日(月)労済会館において、出席総代162名で開催した。

冒頭、光林邦彦理事長は挨拶で「最近発生した台風3号・九州北部豪雨や全国各地で豪雨被害が発生し、全労済では、被災された方々の生活再建にむけて、支援活動や現場調査を全力で取り組んでおります。このような災害の状況を目の当たりにしますと、全労済の役割と責任を改めて痛感します。また、2017年度は創立60周年を迎えます。労働者が作った『共済事業』として、これまで成長させていただき、創立60周年をひとつの節目として、今一度労働者自主福祉運動として、初心に立ち返り、組合員・協力団体の皆さまの『共感・参加・そして信頼』を得て、組合員の生活を守る『保障の生協』として、引き続き役職員一体となって取り組んでいく所存です。皆さま方の更なるご理解とご協力をお願いいたします。」と挨拶した。

来賓として、道原正浩石川県生活環境部生活安全課長、西田満明連合石川会長・石川労福協理事長、高山圭史全労済中日本事業本部常務執行役員からの祝辞のあと、中川博石川労福協専務理事、吉田慶二全労済指定整備工場石川県協議会会長が紹介された。

議案審議の前に、宮鍋正志業務委員長より2016年度表彰団体として4部門30団体が紹介され、賞状と記念品の贈呈が行われた。

石川共済生協第62回総代会の議案審議は、後本康裕専務理事より2016年度活動報告および剰余金処分案、2017年度事業計画等の提案がされ、満場一致で可決承認した。

続いて、第8回全労済石川県本部代表者会議の付議事項の審議がされ、2016年度事業報告では、重点共済である「住まいる共済」「マイカー共済」を中心に取り組みを行い、口数では達成率96.68%の報告があった。また、2017年度活動計画では、全労済創立60周年を起点とする重点共済の取り組みを展開し、2017年9月より県本部窓口を「共済ショップ金沢店」としてリニューアルすること、約7.7万口のプラス伸長を目標設定とする提案がされ、満場一致で可決承認した。

任期満了に伴う役員選挙では、理事20名、監事3名が選任され、第1回理事会で理事長に光林邦彦氏、専務理事に後本康裕氏を再任し、2017年度がスタートした。

付議事項提案終了後、今回で退任される役員より挨拶、引き続き新任役員の紹介ならびに挨拶がされ、代表者会議を終了した。

＜退任役員(敬称略)＞

・森林　清　(コマツユニオン北陸支部)
・谷　　あゆみ(石川トヨタ自動車労働組合)
・塩村　春男(加賀地域ライフ・サポートセンター)
・酒尾　淳平(北國新聞労組)

海洋資源学習会

食とみどり、水を守るいしかわネットワーク（労福協参画）は、7月22日（土）羽咋市柴垣海岸で海洋資源学習会を親子等約100名が参加して開催した。

当日は、早朝の雨も上がった曇り空で海は多少荒れていたものの、予定どおり地元漁師の協力で、地引網を入れ、参加した親子が二手に分かれて網の先に付いたロープで引き、慣れない作業に苦労して網を浜辺に引き上げた。

網を入れる時間もあり、揚がった魚は少ないものの、スズキやカレイ、アジ、ワタリガニなどが入っており、子ども達の歓声で網を引いた疲れも吹っ飛ぶような光景に、ほっとする間もなく魚を仕分け、参加した家族で山分けとなった。

地引網の後は、場所を千里浜に移し、乗用車やバスが走行できる千里浜海岸が、海洋浸食により痩せ細ってきた経緯や千里浜海岸復活のための養浜の必要性、その取り組みについて、地元の本吉淨与県議会議員がパワーポイントを使い分り易く説明し、美しい砂浜、海が与えてくれる恵みの大切さを説いた。

その後は、魚や貝、エビの海鮮バーベキューをお腹一杯食べて、子ども達は夏休みの充実した一日を過ごした。

地域 LSC

加賀地域ライフ・サポートセンター
第15回　退職前セミナー

加賀地域LSCは、7月8日の白山・野々市、小松・能美地域LSCに続き7月22日（土）かが交流プラザさくら2階会議室にて退職前セミナーを社会保険労務士法人ウィズの講師2名を含め25名で開催した。

冒頭、主催者の山本和志会長が挨拶し、引き続き労金・全労済からの商品紹介の後、講義がスタートした。

講義内容が退職前セミナーということで、参加者は退職間近の方も多く、年金・老後の医療や介護保険、さらに税金、保険等、日頃聞く事の出来ない内容の講義とあって、参加者は一語一句聞き逃さないようメモを取りながら真剣に聞き入っていた。本年度は、新しいテキストでは、『ポイント』として重要事項が書かれており、分かりやすいと参加者から評判だった。

講義終了後、個別相談に入ると、何人かの方が、講師に話を聞きに行かれ、参加された方にとって貴重で、重要なセミナーであると感じさせられた。

また、今回は加賀地域だけでなく、津幡町や金沢市、白山市、小松市の方も参加いただき、セミナー開催統一ビラの成果があり、次年度につなげていきたい。

加賀地域LSC　事務局長　御舘　啓太

勤　体　協

第50回県勤労者夏季体育大会

≪バスケットボール大会≫

7月30日・白山市若宮公園体育館
◇男子1組
①ホーミーズ②津田駒工業③高岡中OB東組

8月6日・白山市若宮公園体育館
◇男子2組
①SBC ②すんどめズ
◇女子2組
①Hardi ②でぶもる

8月13日・いしかわ総合スポーツセンター
◇男子3組
①ルーザーズ② DRASTIC ③ゴリーズ

≪ソフトボール金沢大会第1日≫

8月6日・金沢市営専光寺ソフトボール場
◇1組
①MSB ②夢やクレイコーズ

※この機関紙は再生紙を使用しています。